

3次元 CAD/CAM「SURFCAM VelocityⅢ」リリース、 一発大荒カケ上がり加工(*1)に対応した荒加工モジュールを搭載

ニュースリリースに
関するお問合せ

(株)データ・デザイン
sales@datadesign.co.jp

株式会社データ・デザインは、3次元 CAD/CAM システム「SURFCAM」の新版、VelocityⅢを6/15に国内でリリースする。新版リリースにあたり、東京工科大学及びクライムエヌシーデー(敬称略)と技術提携を行い、同研究室/加工センターでの加工結果をもとに新たに強化された荒加工モジュールの運用提案も進めていく。

この新版は航空機部品/難削材加工をターゲットとした CAM 機能アップが図られ、荒加工モジュールの改善と同時5軸加工の強化が行われている。荒加工モジュールには、工具の刃長を最大限に活用し、等高線の動作を下から上に駆け上がりながら加工していく荒加工方法、いわゆる「一発大荒カケ上がり加工」(*1)を組み込んでいる。昨年リリースした工具接触面積を考慮する新加工軌跡生成モジュール「True-Mill」のコンセプトを継承し、工具にかかる負荷や切削面積を自動制御しながら加工パスを生成するため、下から上に駆け上がる加工方法でも回避動作や断続切削による負荷変動などを抑えることができる。東京工科大学、クライムエヌシーデーとデータ・デザインは技術協力契約を結び、今後は難削材加工へのテスト加工等を実施し研究結果をモジュールに反映させていく。

また同時5軸加工の強化では、特に航空機部品加工用の CAM 機能が充実し、自由度の高い4軸、5軸の加工軌跡生成が可能となった。さらに SolidWorksPDO (SolidWorks の図面機能、アセンブリ機能を省き、パーツモデリングに特化した CAM 用モデリングモジュール)が SURFCAM 2Axis(2軸モジュール)にもオプション購入可能となり、SolidWorksPDO を CAD 端末としアソシエイトと呼ばれる機能で、設計変更をリアルタイムに SURFCAM にリンクさせることができるため、CAD と CAM がシームレスにリンクした環境構築が可能である。

(*1)「一発大荒カケ上がり加工」はクライムエヌシーデー社が1995年に論文発表、特許も取得し型技術協会技術賞も受賞した荒加工方法。

■ クライムエヌシーデー社/一発大荒カケ上がり加工へのリンク

➤ <http://www.climb-ncd.co.jp/source/development.htm>

会 社 名:

株式会社データ・デザイン

E-mail: sales@datadesign.co.jp URL: <http://www.datadesign.co.jp>

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目6番27号 EBSビル8F

TEL/052(953)1588(代) FAX/052(953)1502

〒210-0004 川崎市川崎区駅前本町12番1タワーリパーク20F

TEL/044(221)7566(代) FAX/044(222)7107